

授業概要 (シラバス)

専門学校日本ホテルスクール

■科目基本情報

科目番号	GS102	分類	講義科目
授業科目名	国際文化比較論	英文授業科目名	Intercultural Relations
年度	2023年度	年次	夜間部 1年 ブライダル科
開講学期	前期	授業の方法	講義科目
単位数	1単位	年間授業時間数	19.6時間
科目区分	一般教育科目	授業コマ数	14コマ
担当教員名	オレグ・プリミアニ	実務経験なし	備考
経歴			

■授業・科目情報

学習目標	異文化に興味を持ち、文化間の差異違いを認識・理解し、尊重しあう。 自国の文化・習慣・歴史・地理・観光等や社会情勢を理解し、『外客接遇に必要なことは何か』を考察するとともに、異文化コミュニケーションの必要性・重要性を認識する。	
教科書	『外客接遇の基礎』日本教育センター編(2015年改訂版)	
授業計画	回数	内容
	1	国際文化比較論で何を学ぶか
	2	文明と文化 (教科書54・56頁)
	3	世界の文化圏 (教科書56・58・60頁)
	4	世界の言語 (教科書64頁)
	5	シナ・チベットとウラル・アルタイ語族 (教科書66・68頁)
	6	インド・ヨーロッパ語族 (教科書66頁)
	7	アジア・アフリカとオーストラロネシア語族 (教科書68頁)
	8	世界で最も使われている言語は何か (教科書70・72頁)
	9	世界の宗教 (教科書88頁)
	10	ヒンズー教とユダヤ教 (教科書96頁)
	11	仏教とその宗派 (教科書90・92頁)
	12	イスラム教とその宗派 (教科書94頁)
	13	キリスト教とその宗派 (教科書92・94頁)
	14	総合まとめ
授業の進め方	前回復習、最新情報の記事、ニュースを提供。テキスト、ハンドアウトで情報を提供し、解説を行う。ハンドアウトへの記入を学生各自が行い、視覚教材で内容確認。その他グループワーク・プレゼンテーション。	
試験の実施方法	前期1回 試験期間に設定し、形式は文書試験とする。	
成績評価方法	本校の規定に基づき、全科において共通評価基準にて算出する。 ①試験得点 = 50% (10ポイント) ②出席率 = 50% (10ポイント) 上記の2つの項目をそれぞれ10ポイント (合計20ポイント) に置き換えて、そのポイントに応じてA,B,C,D,F評定を決定する。 尚、前提基準として①試験全体平均点の50%未満。または②出席率の50%未満に該当する場合には「F」評価とするが、通年教科の後期学年末の評価については、前期および後期全体の状況をもって算出する。	
関連科目	国際情勢、プロトコール	
参考書	世界比較文化事典、T.モリス、マクミランランゲージハウス (1997年刊) 世界の国旗、吹浦忠正、GAKKEN (2002年刊)	
学生へのメッセージ	国際化の意味を考え、異文化に興味関心を持つ。インバウンドが急成長している外国人からの見た日本を理解すること、生活、文化、社会事情の知識を深めることは不可欠です。日本人としてのしっかりした情報の発信ができるようになって下さい。	